

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

研究計画書番号	RP2-09
研究課題名	原爆被爆者における放射線治療後の二次がんリスクに関する研究
研究責任者（所属）	吉永信治（放射線医学総合研究所）
放影研での研究責任者	小笹晃太郎
試料・情報の利用目的及び 利用方法	<p>利用目的： 原爆被爆者である寿命調査対象者の方々が受けた放射線治療がその後のがんの発生や死亡に及ぼす影響を解明します。原爆からの放射線と放射線治療が互いにどのように影響を及ぼしあうのかについても検討します。</p> <p>利用方法： 原爆傷害調査委員会および放射線影響研究所が過去に実施した広島・長崎の医療機関での放射線治療の調査により、原爆被爆者の方々についての放射線治療の状況が分かっています。放射線治療を受けた寿命調査対象者の方々について、原爆からの放射線の影響も同時に考慮したうえで、放射線治療がその後のがんの発生や死亡に及ぼす影響を分析します。その際、個人情報には匿名化され、個人が特定されることはありません。分析結果は学術論文等において集計値として公表します。</p>
他の機関への提供の有無	<p><input checked="" type="checkbox"/>有（提供先機関：放射線医学総合研究所）外部の研究責任者へ分析用のデータを提供する目的のために、個人情報を匿名化（対応表は放影研が保持します）したうえで、個別データを提供します。匿名性を高めるために、生年月日や被曝線量など個人の特定につながる可能性のある情報は丸めて提供します。</p> <p><input type="checkbox"/>無</p>
利用し、又は提供する 試料・情報の項目	<p>1) 過去の放射線治療調査を通して得た放射線治療に関する情報</p> <p>2) 追跡調査に基づく生死および死因、がん罹患に関する情報 （がん罹患に関する情報は RP18-61 & RP29-60 で取得したものです）</p> <p>3) 対面調査および質問票調査に基づく原爆被爆状況</p>
利用する者の範囲	<p>放射線医学総合研究所</p> <p style="padding-left: 20px;">吉永信治 土居主尚</p> <p>放射線影響研究所</p> <p style="padding-left: 20px;">小笹晃太郎 坂田 律</p>

	定金敦子 山田美智子 疫学部原簿管理課・腫瘍組織登録室・病理学研究室・解析室の担当職員
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	吉永信治（放射線医学総合研究所）
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：小笹晃太郎 公益財団法人 放射線影響研究所 疫学部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131